

# 元気なまちかど

## No.1 税金の役割を学ぶ

租税教室

租税教室が1月16日、小原小学校の6年生を対象に開催されました。子どもたちに税の意義や役割を正しく理解してもらったため、毎年税務署や市、税理士などが共同で市内小中学校で授業を行っています。児童たちは、税金がなくなったらどんな暮らしになるかを描いたDVDを見て、税金の必要性を知ったり、税金の使い道に関するクイズから、税金が何に使われているかを学んだりしました。身近な事例を通して税の知識を深めるとともに、授業の最後には、見本のお金1億円が入ったケースを持ってお金の重さを体感する貴重な経験もしました。



▲1億円の重さを確認する児童

## No.2 レンジで簡単ケーキ作り かえで子育て広場

かえで子育て広場「レンジでココアケーキ作り」が1月18日、かえで児童館で開かれ、7組の親子が参加しました。この広場は月1回、未就園児と保護者を対象に工作や親子遊びなどを行い、子ども・保護者同士の交流の場を提供しています。この日は、レンジで簡単にできるケーキ作りに挑戦し、生クリームなどで飾り付けをして、おいしそうなココアケーキを完成させました。参加した子どもは自分で作ったケーキを満足げに食べ、保護者は「また家でも一緒に作りたい」と笑顔で話していました。



▲ケーキに飾り付けをする親子

## No.3

### 館内に響く美しいハーモニー 信楽図書館ボランティアコンサート

信楽図書館ボランティアコンサートが1月22日、図書館フロアで開催され、約30人の聴衆が美しいハーモニーを楽しみました。同図書館で定期的で開催されているこのコンサートは、今回で289回目を迎えます。この日は、県内在住の音楽グループ「あゆみムジック」の中のメンバー6人による歌やピアノ、トランペットなどの演奏が行われました。クラシック音楽、日本の冬の歌など数々の名曲が披露され、席についている人だけでなく、来館者も立ち止まり、館内に響き渡る生歌・生演奏に聴き入っていました。



▶「あゆみムジック」による生演奏



▲パネルディスカッションの様子

## No.5 発電機作りに挑戦 子ども電気出前教室

関西電気保安協会による「子ども電気出前教室」が1月26日、佐山小学校で行われ、6年生の児童11人が参加しました。この日は電気が発生する仕組みなどについて学んだ後、コイルを組み立て、手回し発電機の製作に挑戦しました。作業に苦戦する児童もいましたが、同協会スタッフのアドバイスを受けながら作り上げました。最後は自分で作った発電機をプロペラにつないで通電するかを確認し、児童の一人は「発電の仕組みがよく分かった。プロペラもちゃんと動いてよかった」とうれしそうに感想を話しました。



▲発電機を組み立てる児童

## No.6 ゴルフ場を駆け抜ける こうかクロスカントリー

第15回こうかクロスカントリーが1月29日、富士スタジアムゴルフ倶楽部北コースで開催され、市内をはじめ京都・三重などから約150人が参加しました。甲賀創健文化振興事業団と甲賀町体育協会が主催するこのイベントは、ゴルフ場の高低差のあるコースを、男女別に10,000mと5,000mの部に分かれて走ります。数日前に降った雪がまだ残る中、ランナーたちは芝生の感触を確かめながら起伏に富んだコースをそれぞれのペースで駆け抜け、ゴールをめざしました。

▲起伏の激しいコースを走り抜けるランナー

## No.4 「まちづくり」を考えるきっかけに 市民参画をすすめるまちづくりフォーラム

昨年施行された「まちづくり基本条例」をもとに、市民・議会・行政が一体となって取り組んでいくための「市民参画をすすめるまちづくりフォーラム」が1月22日、碧水ホールで開かれました。フォーラムでは、「まちづくり」についての講演のほか、パネルディスカッションが行われ、さまざまな形でまちづくりに携わっている市民とともに、岩永市長もパネリストとして意見を交わしました。参加者は、多くの意見に触れ、自らがまちづくりに関することの大切さを考える機会となりました。